



病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

都道府県の情報

| | |
|------------|------------------|
| 都道府県内の総人口 | 1,109,574人 |
| がん死亡者数 (%) | 3,587人(0.32%) |
| 高齢化率 | 30.7% (334,124人) |

令和5年10月1日現在

病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

都道府県内のがん患者の状況

| がん種 | 罹患者数 | 罹患率 | 死亡者数 | 死亡率 |
|------|--------|-------|--------|-------|
| 肺がん | 1,200人 | 108.1 | 707人 | 63.7 |
| 大腸がん | 1,331人 | 120.0 | 469人 | 42.3 |
| 胃がん | 1,415人 | 127.5 | 435人 | 39.2 |
| 乳がん | 908人 | 81.8 | 135人 | 81.8 |
| 肝臓がん | 304人 | 27.4 | 197人 | 17.8 |
| | 人 | | 人 | |
| 全体 | 9,414人 | 848.4 | 3,525人 | 317.7 |

病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1 施設

金沢大学附属病院 830床

地域がん診療連携拠点病院 4 施設

石川県立中央病院 630床

金沢医療センター 512床

金沢医科大学病院 817床

小松市民病院 340床

病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

がん診療病院の情報

県地域がん診療連携協力病院

公立能登総合病院

434床

恵寿総合病院

426床

県地域がん診療連携推進病院

芳珠記念病院

183床

金沢市立病院

306床

金沢赤十字病院

262床

JCHO 金沢病院

248床

浅ノ川総合病院

499床

石川県済生会金沢病院

260床

公立松任石川中央病院

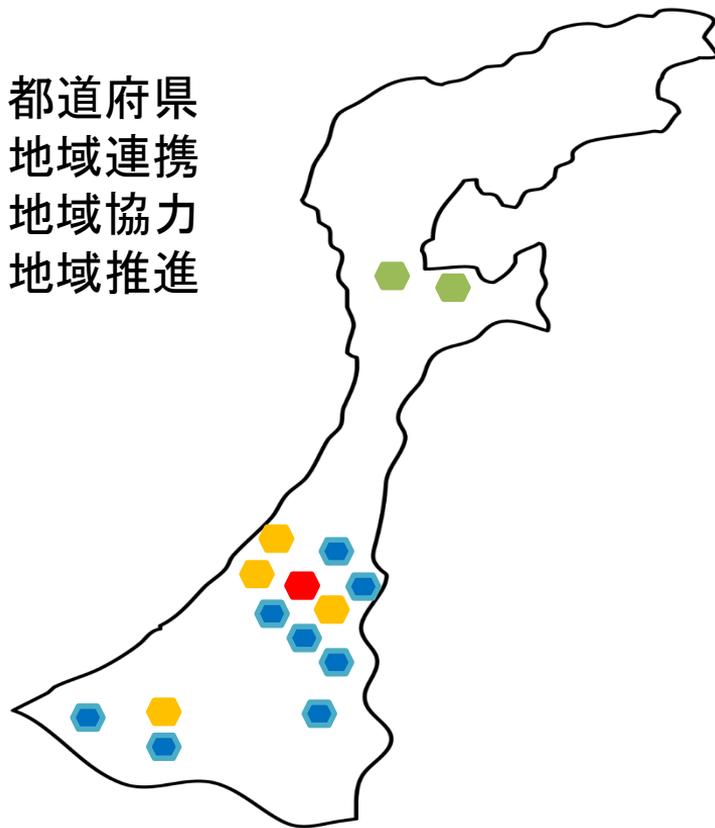
305床

加賀市医療センター

300床



- 都道府県
- 地域連携
- 地域協力
- 地域推進

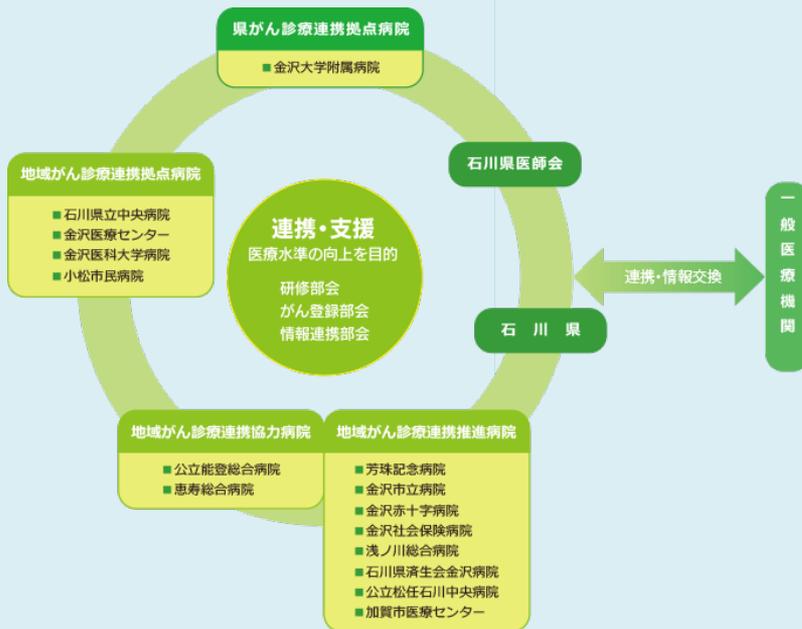


病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

がん診療病院の情報

(参考)

石川県がん診療連携協議会



病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

都道府県におけるがん医療の特性

・都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院はすべて金沢市を中心とした県南部の加賀地域に集中しており、高次医療機関の偏在が顕著である。

特に、高度ながん医療（高度な技術を要する外科手術、特殊な放射線療法、がん化学療法、がん遺伝子パネル検査など）に関しては、県南部の医療機関に集約されている傾向がある。

・一方、県北部の能登地域では、少子高齢化、過疎化と相まってがん医療に関わる医療機関数、医師数ともに少なく、派遣医師に頼っている病院も存在する。また、高度ながん医療が必要な場合には、県南部の医療機関に紹介して受けていることが多い。

病院名 金沢大学附属病院
都道府県名 石川県

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- ・県南部の加賀地域、特に当院がある金沢市周辺では、がん化学療法に関わる医療機関数（病院、診療所とも）、医師数は充足しており、病病連携（緩和ケア病棟への紹介を含む）、病診連携（在宅医療への紹介を含む）もうまく稼働していると考えられる。また、がん薬物療法専門医も多く在籍しており、高度ながん化学療法が提供できていると考えられる。
- ・一方、県北部の能登地域では、高齢化、過疎化の影響もあり、がん化学療法に関わる医療機関数、医師数ともに少ない。現在奥能登地域の4病院を統合して新病院を建設する計画も持ち上がっている。

【課題】

- ・能登地域では、がん化学療法をほとんど行っていない、あるいは派遣医師が行っている医療機関があり、化学療法のために片道2～3時間かけて金沢まで通院されている方もいる。能登地域では近年過疎化が進んでいるが、令和6年1月1日に発生した能登半島地震のため、多くの医療機関で患者数がさらに減少しており、今後上記の傾向に一層拍車がかかることも予想され、がん化学療法の診療体系の抜本的な見直しに迫られている。
- ・石川県内で病床数が多い3病院（金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院）の間でのがん化学療法に関する連携が十分取れているとは言えない。

研修の概要

【タイトル】

病病・病診連携を進める際の現状と課題 ～各職種の立場から～

【目的】

石川県におけるがん化学療法の現状把握と課題の共有（各地域・施設の課題抽出）

【対象者・人数】

石川県がん診療連携拠点病院（金沢大学附属病院）

地域がん診療連携拠点病院（石川県立中央病院、金沢医科大学病院、金沢医療センター、小松市民病院）各施設から多職種（医師・薬剤師・看護師・MSW・栄養士）

【目標】

一般目標（GIO）:

各地域・施設の共通の課題・意見を把握する

到達目標（SBO）:

共通の課題に対するアプローチの仕方をを見つける

プログラム

1日目

| 開始 | 終了 | 時間 | 研修方法 | 内容 |
|-------|-------|-----|----------------|---|
| 10:00 | 10:10 | 10分 | オリエンテーション | 開会あいさつ、研修内容説明 |
| 10:10 | 11:00 | 50分 | 参加施設紹介 | 各施設の状況報告、課題発表 発表7分、質疑応答3分(10分×5施設) |
| 11:00 | 11:10 | 10分 | | 休憩 |
| 11:10 | 11:40 | 30分 | 職種別 グループワーク | 職種別(医師・薬剤師・看護師・MSW・栄養士) に病病・病診連携を進めるための課題を検討 |
| 11:40 | 12:10 | 30分 | 施設別 グループワーク | 各施設にて病病・病診連携を 進めるための課題を検討 |
| 12:10 | 12:35 | 25分 | 課題発表 | 各施設での検討後の課題発表 発表3分、質疑応答2分(5分×5施設) |
| 12:35 | 12:40 | 5分 | | まとめ |



研修の評価

【実施評価】

- ・研修終了時にアンケートを行い、研修会の理解度、満足度、運営方法などにつき評価する。

【結果評価】

- ・研修1年後に各施設にアンケートを実施し、病病・病診連携が進展しているかにつき評価する。

【企画評価】

- ・研修会の内容や研修方法、主催者側の進行が適切であったかにつき、アンケート結果も踏まえて評価する。
- ・研修終了後、ファシリテーターと振り返りを行う。